

◆各会社のアウトカム指標(令和3年度実績値)

柱	No	主指標(目標値設定)	従指標(実績のみ把握)	備考
I-1. 安全・安心の確保(交通安全対策)				
【死傷事故をへらす】				
	1	死傷事故率		算出中 [※]
【人の立入をへらす】				
	2	人等の立入事案件数		
【逆走事故をなくす】				
	3	逆走事故件数		
	4		逆走事案件数	
I-2. 安全・安心の確保(構造物保全)				
【構造物を安全に安心して使い続ける】				
	5	橋梁修繕着手率	(着手済数/要対策数)	算出中 [※]
	6	トンネル修繕着手率	(着手済数/要対策数)	算出中 [※]
	7	道路附属物等修繕着手率	(着手済数/要対策数)	算出中 [※]
	8		修繕着手済橋梁数・要対策数	算出中 [※]
	9		橋梁の点検率	算出中 [※]
	10		修繕着手済トンネル数・要対策数	算出中 [※]
	11		トンネルの点検率	算出中 [※]
	12		修繕着手済道路附属物等数・要対策数	算出中 [※]
	13		道路附属物等の点検率	算出中 [※]
【構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす】				
	14	(車限令)取締実施回数		
	15		(車限令)引込み台数	
	16		(車限令)措置命令件数	
	17		(車限令)即時告発件数	
【地震に強い道路をつくる】				
	18	橋梁の耐震補強完了率		算出中 [※]
II. 快適な走行サービスの提供				
【渋滞をへらす】				
	19	渋滞損失時間		
	20		通行止時間(事故・工事・災害に伴う交通規制時間)	
	21		ピンポイント渋滞対策実施箇所	
【路上工事の渋滞を最小化する】				
	22	路上工事による渋滞損失時間		
	23		交通規制時間(路上工事に伴う交通規制時間)	
【走りやすい道路を維持する】				
	24	快適走行路面率		
III. 地域との連携				
【観光振興に貢献する】				
	25	(企画割引)販売件数		
	26		(企画割引)実施件数	
	27		(企画割引)販売件数(観光施設とのセット販売)	
【地域に施設を開放する】				
	28	SA・PAの地元利用日数		
【道路空間を地域に開放する】				
	29	占用件数		
	30		道路占用による収入	
【資産を有効活用する】				
	31	入札占用件数		
IV. コスト縮減				
【新技術の活用などによるコスト縮減を続ける】				
	32	インセンティブ助成認定件数		
	33		インセンティブ助成交付件数	
	34		インセンティブ助成交付額	
V. 総合的な取組の推進				
【サービスの向上に努める】				
	35	総合顧客満足度		
【利便】				
	36	年間利用台数		
【ETC2.0の普及を促進する】				
	37	ETC2.0利用率		

※指標「死傷事故率」と「各構造物の修繕着手済数」の令和3年度実績値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定

※太字は、機構と高速道路会社の共通目標「(I)安全・安心の確保、(II)快適なサービスの提供」の下に定めた主要な指標分類

(Ⅱ) 快適なサービスの提供に関する指標

(Ⅱ) 快適なサービスの提供							
指標分類		東日本	中日本	西日本	本四	首都	阪神
■ 渋滞損失時間 [単位：万台・時] 渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間	令和2年度実績	477万台・時	739万台・時	262万台・時	3万台・時	1,510万台・時	554万台・時
	令和3年度実績	590万台・時	895万台・時	287万台・時	3万台・時	1,860万台・時	812万台・時
	中期目標 (令和7年度)	算出中 ^{※2}					
■ 路上工事による渋滞損失時間 [単位：万台・時] 路上工事に起因する渋滞が発生したことによる利用者の年間損失時間	令和2年度実績	11万台・時	171万台・時	27万台・時	1万台・時	38万台・時	12万台・時
	令和3年度実績	9万台・時	315万台・時	51万台・時	1万台・時	57万台・時	15万台・時
	中期目標 (令和4～令和7年度の 平均値)	算出中 ^{※2}					
■ 快適走行路面率 [単位：％] 快適に走行できる舗装路面の車線延長比率	令和2年度実績	96%	97%	97%	95%	97%	97%
	令和3年度実績	95%	96%	98%	96%	97%	97%
	中期目標 (令和4～令和7年度の 平均値)	算出中 ^{※2}					

※1 指標「死傷事故率」と「各構造物の修繕着手済数」の令和3年度実績値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定

※2 各指標の中期目標値（令和7年度）については、今後順次公表予定

◇ I - 1. 安全・安心の確保(交通安全対策)

速報値

目的	一人の立入をへらす			  
本指標が達成すべき具体目標	人等の立入事案を継続的に減少させる。	各指標の定義	主指標	■人等の立入事案件数(単位:件) 歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入り、保護した事案の件数

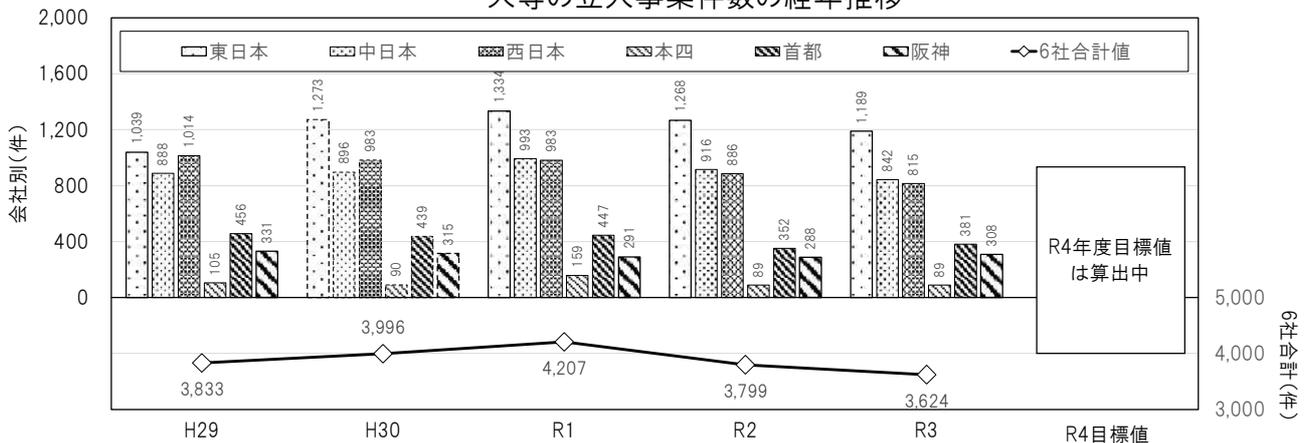
①会社別の指標値

	■人等の立入事案件数(単位:件)				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	中期目標※1 令和7年度
高速東道路本線	1,268 件	770 件	1,189 件	算出中 件	算出中 件
高速中道路本線	916 件	809 件	842 件	算出中 件	算出中 件
高速西道路本線	886 件	850 件	815 件	算出中 件	算出中 件
高速本州四国道路本線	89 件	89 件	89 件	算出中 件	算出中 件
高速首都圏	352 件	390 件	381 件	算出中 件	算出中 件
高速阪神	288 件	280 件	308 件	算出中 件	算出中 件

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)※1
6社合計値	3,833 件	3,996 件	4,207 件	3,799 件	3,624 件	算出中 件

人等の立入事案件数の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

◇ I - 1. 安全・安心の確保(交通安全対策)

速報値

目的	一 逆走事故をなくす			主指標 ■逆走事故件数(単位:件) 逆走による年間事故発生件数※2
	本指標が達成すべき具体目標	各指標の定義	逆走事故を継続的に減少させ、0件を目指す。	

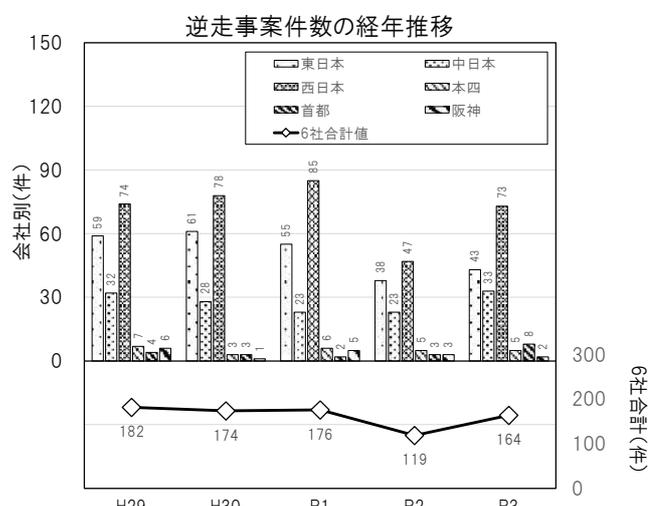
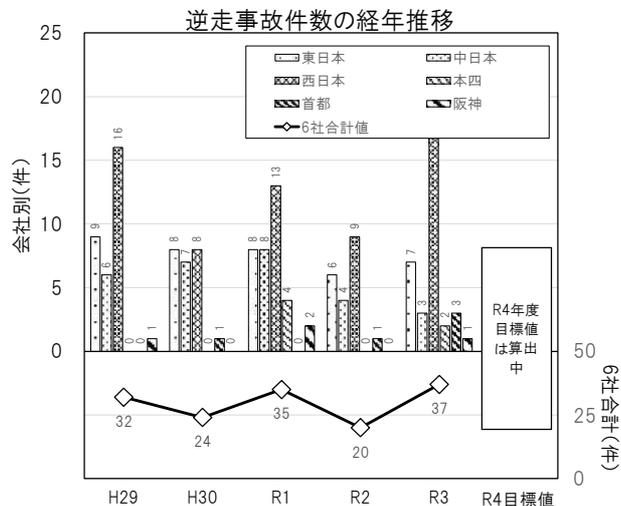


①会社別の指標値

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	中期目標※1 令和7年度
高速東道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 6件	5件	7件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 38件		43件		
高速中道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 4件	6件	3件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 23件		33件		
高速西道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 9件	7件	21件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 47件		73件		
高速本州四国道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 0件	0件	2件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 5件		5件		
高速首都道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 1件	0件	3件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 3件		8件		
高速阪神道路本線	■逆走事故件数(単位:件) 0件	0件	1件	算出中件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 3件		2件		

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)※1
6社合計値	■逆走事故件数(単位:件) 32件	24件	35件	20件	37件	算出中件
	■逆走事案件数(単位:件) 182件	174件	176件	119件	164件	



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。
 ※2 数値は、1/1~12/31間の年間値。

目的	一 構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす 一			   
本指標が達成すべき具体目標	車限令違反車両を継続的に減少させる。	各指標の定義	主指標 ■車限令取締実施回数(単位:回) 車限令違反車両取締を実施した回数 従指標 ■引込み台数(単位:台) 引込みを行った台数 ■措置命令件数(単位:台) 措置命令を行った台数 ■即時告発件数(単位:台) 即時告発を行った台数	

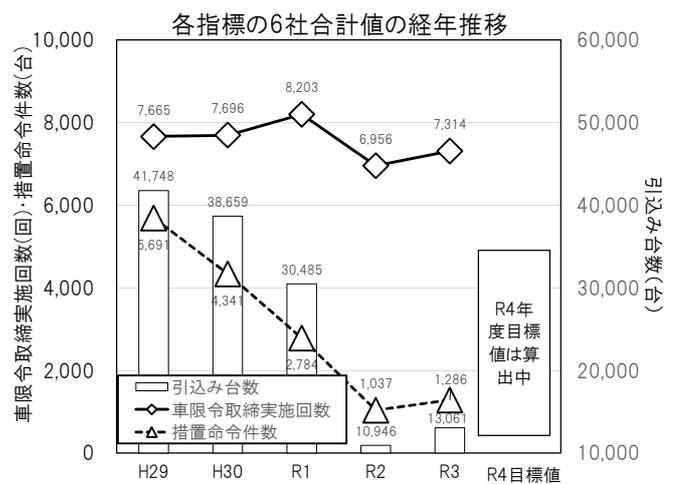
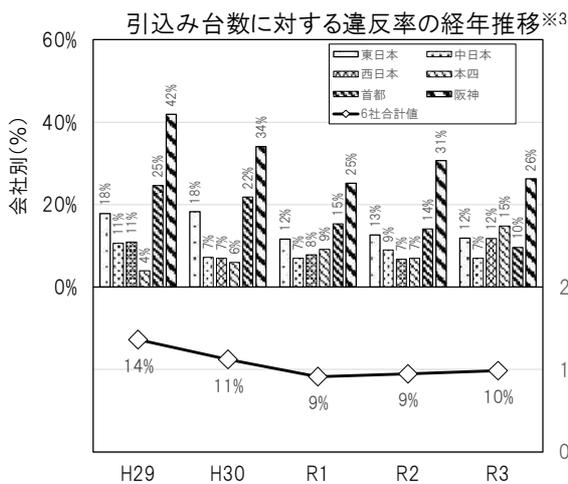
①会社別の指標値

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{*1}	(参考) 令和0~令和0年度の 平均値	中期目標 ^{*1} 令和4~令和7年度の 平均値
東日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,380 回	1,400 回	1,373 回	算出中 回	一 回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	2,147 台	/	3,812 台	/	/	/
	■措置命令件数(単位:台)					
	271 台	/	453 台	/	/	/
■即時告発件数(単位:台)						
0 台	/	0 台	/	/	/	
中日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	819 回	819 回	876 回	算出中 回	一 回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	4,453 台	/	5,833 台	/	/	/
	■措置命令件数(単位:台)					
	313 台	/	407 台	/	/	/
■即時告発件数(単位:台)						
1 台	/	2 台	/	/	/	
西日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,395 回	1,400 回	1,537 回	算出中 回	一 回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	3,343 台	/	2,564 台	/	/	/
	■措置命令件数(単位:台)					
	224 台	/	302 台	/	/	/
■即時告発件数(単位:台)						
0 台	/	0 台	/	/	/	
本州四国 高速道路(株) 連絡	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	116 回	150 回	156 回	算出中 回	一 回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	387 台	/	297 台	/	/	/
	■措置命令件数(単位:台)					
	27 台	/	44 台	/	/	/
■即時告発件数(単位:台)						
0 台	/	0 台	/	/	/	

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇～令和〇年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和4～令和7年度の 平均値
首都 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,099 回	1,000 回	791 回	算出中 回	一回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	469 台		395 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	66 台		38 台			
■即時告発件数(単位:台)						
0 台		0 台				
阪神 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	2,147 回	2,200 回	2,581 回	算出中 回	一回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	150 台		160 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	46 台		42 台			
■即時告発件数(単位:台)						
0 台		0 台				

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社 合計値	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	7,665 回	7,696 回	8,203 回	6,956 回	7,314 回	算出中 回
	■引込み台数(単位:台)					
	41,748 台	38,659 台	30,485 台	10,946 台	13,061 台	
	■措置命令件数(単位:台)					
	5,691 台	4,341 台	2,784 台	1,037 台	1,286 台	
■即時告発件数(単位:台)						
5 台	10 台	6 台	1 台	2 台		



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

※3 各会社、効率的な取締のために実践している様々な工夫(取締エリアや時間帯の厳選など)の違いや取締可能なエリアの制約状況の差などによる要因を理由に差が生じている。

◇Ⅱ. 快適な走行サービスの提供

速報値

目的	— 渋滞をへらす —								
本指標が達成すべき具体目標	渋滞損失時間を継続的にへらす。		各指標の定義	主指標	■渋滞損失時間(単位:万台・時) 渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間※4				
				従指標	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所) 1段目は新規着手箇所数、2段目の()内は対策実施箇所数、3段目の<>内は完了箇所数(平成27年度以降の累計値) ■通行止め時間(単位:時間) 1段目は災害・悪天候、2段目は事故・その他、3段目は工事に伴う単位営業延長(上下線別)あたり平均通行止め時間※5				

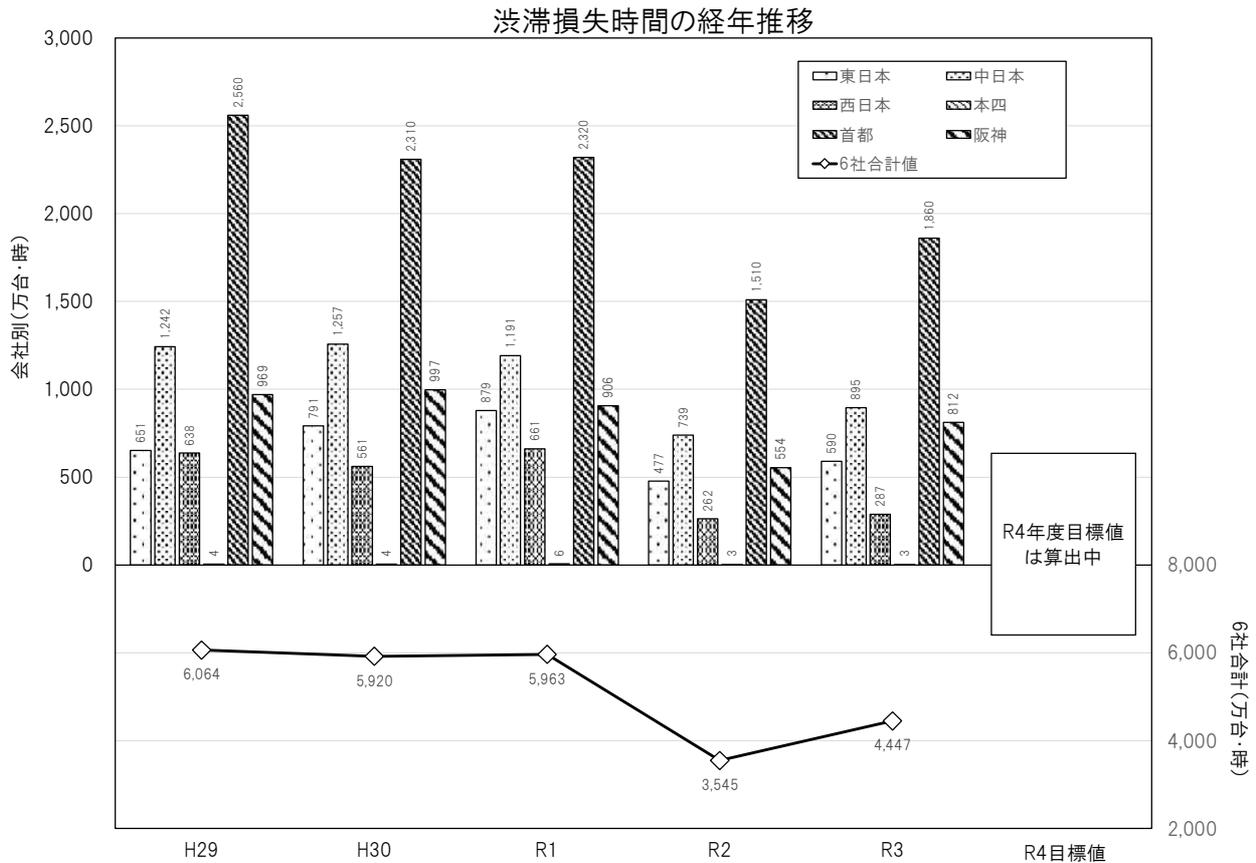
①会社別の指標値

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	(参考) 令和〇~令和〇年度の 平均値	中期目標※1 令和7年度
高速東道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	477 万台・時	841 万台・時	590 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所		0 箇所			
	4 箇所		4 箇所			
	4 箇所		4 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候	20 時間		災害 悪天候	17 時間		計 — 時間
事故 その他	6 時間		事故 その他	5 時間		
工事	46 時間		工事	48 時間		
高速中道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	739 万台・時	1,158 万台・時	895 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所		0 箇所			
	8 箇所		8 箇所			
	6 箇所		6 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候	9 時間		災害 悪天候	16 時間		計 — 時間
事故 その他	2 時間		事故 その他	4 時間		
工事	15 時間		工事	25 時間		
高速西道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	262 万台・時	605 万台・時	287 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	1 箇所		2 箇所			
	1 箇所		2 箇所			
	1 箇所		3 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候	31 時間		災害 悪天候	19 時間		計 — 時間
事故 その他	2 時間		事故 その他	2 時間		
工事	58 時間		工事	66 時間		
本州四国連絡 高速道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	3 万台・時	4 万台・時	3 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	- 箇所		- 箇所			
	- 箇所		- 箇所			
	- 箇所		- 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候	6 時間		災害 悪天候	14 時間		計 — 時間
事故 その他	0 時間		事故 その他	1 時間		
工事	9 時間		工事	1 時間		

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	(参考) 令和〇～令和〇年度の 平均値	中期目標※1 令和7年度
高速道路 首都	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	1,510 万台・時	2,295 万台・時	1,860 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所		0 箇所			
	2 箇所		2 箇所			
	4 箇所		4 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候 事故 その他 工事	0.1 時間		災害 悪天候 事故 その他 工事	14 時間 3 時間 2 時間	計 ー 時間	
高速道路 阪神	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	554 万台・時	889 万台・時	812 万台・時	算出中 万台・時		算出中 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所		0 箇所			
	1 箇所		0 箇所			
	3 箇所		3 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 悪天候 事故 その他 工事	0 時間		災害 悪天候 事故 その他 工事	0.2 時間 0.4 時間 5 時間	計 ー 時間	

②渋滞損失時間の6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)※1
6社 合計値	6,064 万台・時	5,920 万台・時	5,963 万台・時	3,545 万台・時	4,447 万台・時	算出中 万台・時



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

※4 東日本高速道路㈱・中日本高速道路㈱・西日本高速道路㈱の数値は、1/1～12/31間の年間値。

※5 上下線別の通行止め時間に距離を乗じた年間のべ時間・距離を営業延長で除算したもの。

◇Ⅱ. 快適な走行サービスの提供

速報値

目的	— 路上工事の渋滞を最小化する —										
本指標が達成すべき具体目標	必要となる工事が増加する中でも、路上工事による渋滞を最小化する。				各指標の定義	主指標	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時) 路上工事に起因する渋滞が発生したことによる利用者の年間損失時間 ^{※4※6}				
						従指標	■交通規制時間(単位:時間/km) 上段は道路1kmあたりの路上工事に伴う交通規制時間、下段は集中工事時間を除く時間 ^{※7}				

①会社別の指標値

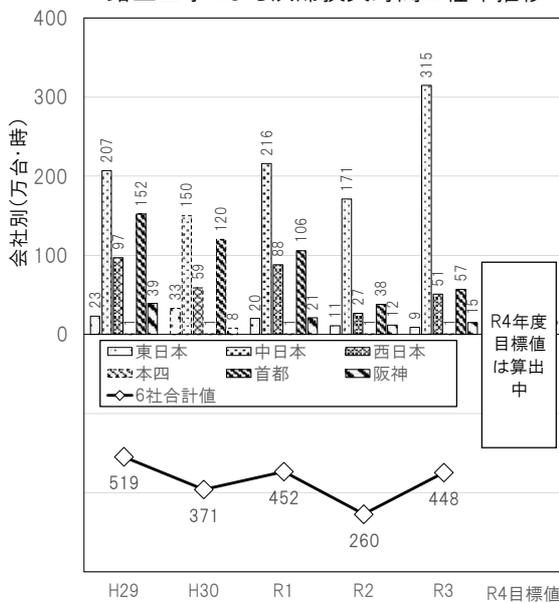
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和0~令和0年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和4~令和7年度の 平均値
高速東 道路本 線	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	11 万台・時	25 万台・時	9 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	156 時間/km		155 時間/km			
	156 時間/km		155 時間/km			
高速中 道路本 線	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	171 万台・時	301 万台・時	315 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	215 時間/km		232 時間/km			
	209 時間/km		224 時間/km			
高速西 道路本 線	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	27 万台・時	81 万台・時	51 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	139 時間/km		134 時間/km			
	131 時間/km		113 時間/km			
本州四 国連 絡	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	1 万台・時	1 万台・時	1 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	85 時間/km		109 時間/km			
	85 時間/km		109 時間/km			
高速首 都	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	38 万台・時	95 万台・時	57 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	223 時間/km		185 時間/km			
	223 時間/km		185 時間/km			

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇～令和〇年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和4～令和7年度の 平均値
高速道路路線 阪神	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	12 万台・時	25 万台・時	15 万台・時	算出中 万台・時	— 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	129 時間/km		135 時間/km			
	109 時間/km		126 時間/km			

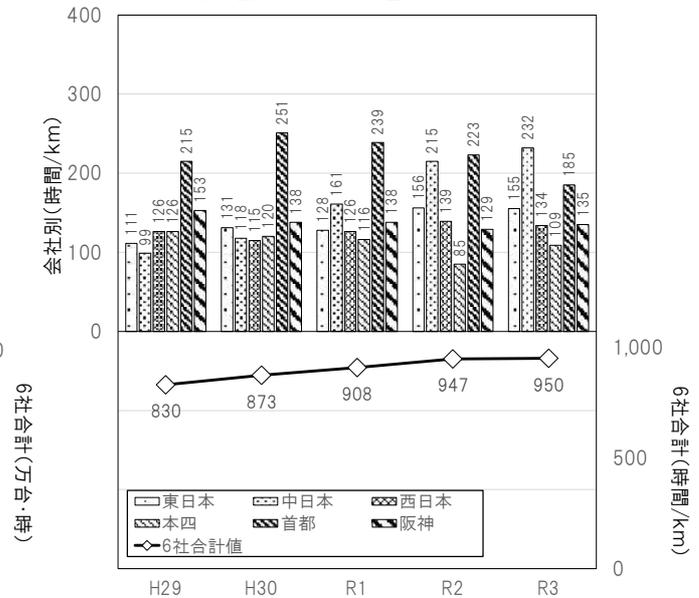
②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社 合計値	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	519 万台・時	371 万台・時	452 万台・時	260 万台・時	448 万台・時	算出中 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	830 時間/km	873 時間/km	908 時間/km	947 時間/km	950 時間/km	

路上工事による渋滞損失時間の経年推移



交通規制時間の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

※4 東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社の数値は、1/1～12/31間の年間値。

※6 首都高速道路株式会社・阪神高速道路株式会社については、本線渋滞損失時間に全体の渋滞量(渋滞距離と渋滞時間を乗じたもの)に対する路上工事に起因する渋滞量の割合を乗じたもの。

※7 集中工事を除いた路上工事時間とは、お客様が迂回や時間・日程調整など回避行動をとることができるよう区間・期間を事前に広く広報した上で行う工事を除いた路上工事時間である。

◇Ⅱ. 快適な走行サービスの提供

速報値

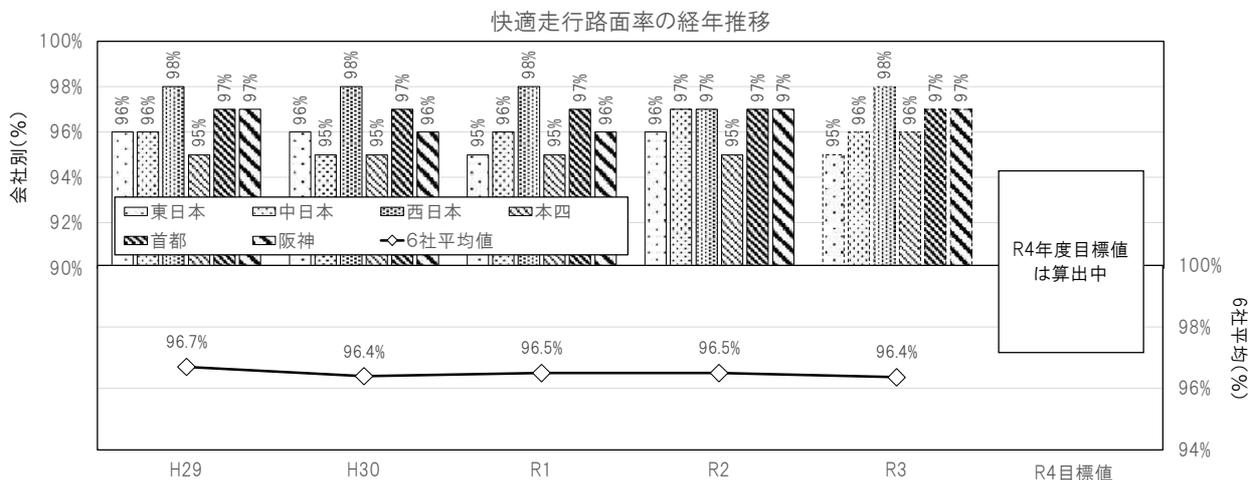
目的	— 走りやすい道路を維持する —			  		
本指標が達成すべき具体目標	快適に走行できる舗装路面の水準を保つ。	各指標の定義	主指標	■ 快適走行路面率(単位:%) 快適に走行できる舗装路面の車線延長比率		

①会社別の指標値

	■ 快適走行路面率(単位:%)					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇~令和〇年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和4~令和7年度の 平均値
高速東道路本線	96%	95%	95%	算出中%	—%	算出中%
高速中道路本線	97%	95%	96%	算出中%	—%	算出中%
高速西道路本線	97%	98%	98%	算出中%	—%	算出中%
高速本州四国連絡道路本線	95%	95%	96%	算出中%	—%	算出中%
高速首都圏	97%	97%	97%	算出中%	—%	算出中%
高速阪神	97%	97%	97%	算出中%	—%	算出中%

②6社平均値の過去5年推移^{※8}

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6社平均値	96.7%	96.4%	96.5%	96.5%	96.4%



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

※8 %などの比率で目標設定している一部の指標分類については、当該年度の年度目標値の6社合計値等の掲載は割愛します。

◇Ⅲ.地域との連携

速報値

目的	— 観光振興に貢献する —			   
本指標が達成すべき具体目標	地域振興や観光振興のため、利用者が利用しやすい企画割引等の販売・実施件数の継続的な増加を目標とする。	各指標の定義	主指標	■企画割引の販売件数(単位:千件) 地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の販売件数
			従指標	■企画割引の実施件数(単位:件) 地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の実施件数 ■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件) 地域振興や観光振興を目的とした企画割引のうち、観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数 ^{※9※10}

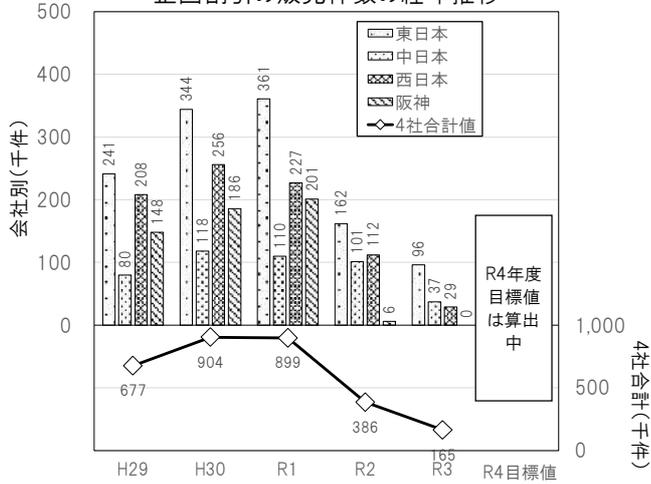
①会社別の指標値

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇~令和〇年度の 累積値	中期目標 ^{※1} 令和4~令和7年度の 累積値
高速東 海道 本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	162千件	298千件	96千件	算出中千件	—千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	16件		16件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						
高速中 海道 本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	101千件	69千件	37千件	算出中千件	—千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	15件		17件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						
高速西 海道 本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	112千件	139千件	29千件	算出中千件	—千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	8件		8件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						
高速本 州道 路網	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	5千件	—千件	3千件	算出中千件	—千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	2件		2件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						
高速首 都道 路網	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	—千件	—千件	—千件	—千件	—千件	—千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	—件	—件	—件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						
高速阪 神道 路網	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	6千件	118千件	0千件	算出中千件	千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	1件		1件			
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						

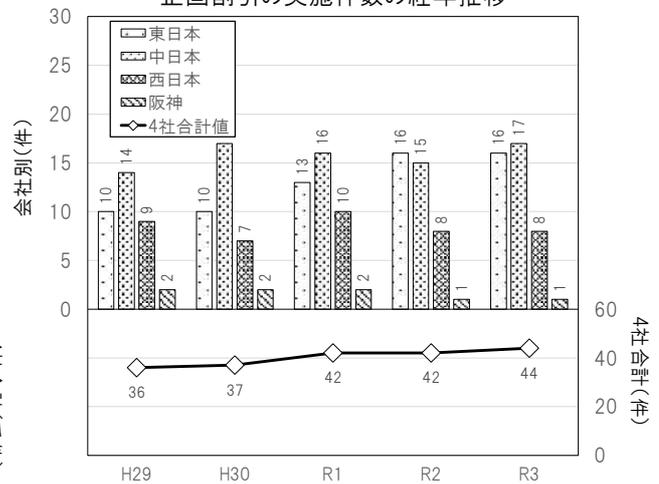
②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社合計値	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	677千件	904千件	899千件	386千件	165千件	算出中千件
	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	36件	37件	42件	42件	44件	
■観光施設の利用料金等とセット販売した企画割引の販売件数(単位:千件)						

企画割引の販売件数の経年推移



企画割引の実施件数の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

※9 地域振興や観光振興を目的とした観光施設等と連携した優待特典付きの企画割引は除いた件数。

※10 令和4年度の実績値より公表を予定。

目的	一 地域に施設を開放する 一			8 働きがいも 経済成長も	9 産業と地域連携の 実現につなげる	11 防災・危機に 対応する	17 パートナリングで 社会課題を解決しよう
本指標が 達成すべき 具体目標	地域活性化のため、SA・PAの地元利用日数の継続的な増加を目標とする。	各指標の 定義	主 指標	■SA・PAの地元利用日数(単位:日) 地元が販売・イベント等によりSA・PAを利用した日数			

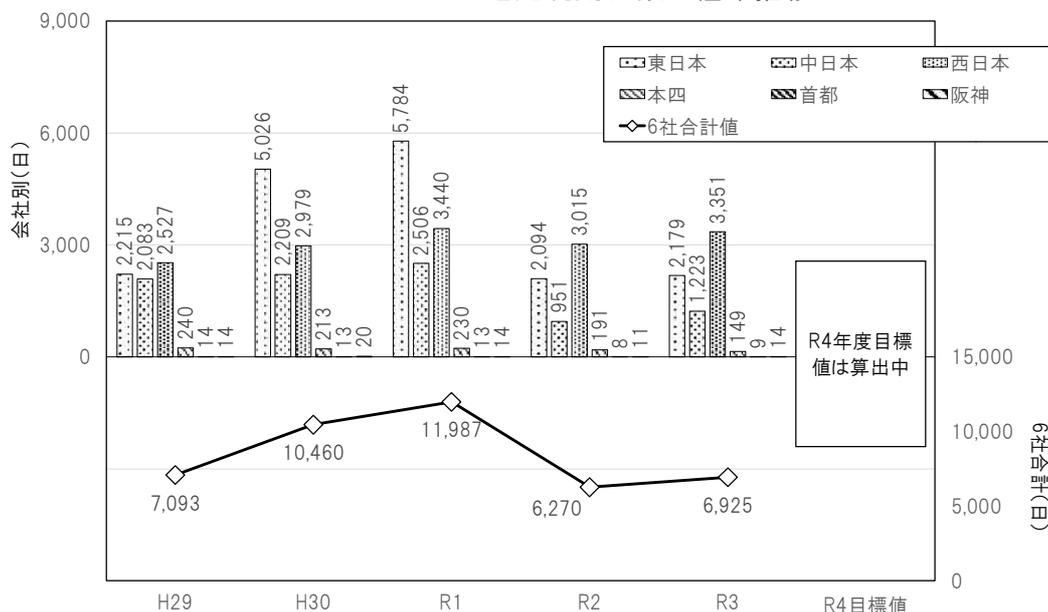
①会社別の指標値

	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標*1	(参考) 令和〇~令和〇年度の 累積値	中期目標*1 令和4~令和7年度の 累積値
高速東 道路本 線(本 線)	2,094 日	2,057 日	2,179 日	算出中 日	— 日	算出中 日
高速中 道路本 線(本 線)	951 日	950 日	1,223 日	算出中 日	— 日	算出中 日
高速西 道路本 線(本 線)	3,015 日	3,529 日	3,351 日	算出中 日	— 日	算出中 日
高速 本州 四国 道路 網(本 線)	191 日	102 日	149 日	算出中 日	— 日	算出中 日
高速 首都 道路 網(本 線)	8 日	13 日	9 日	算出中 日	— 日	算出中 日
高速 阪神 道路 網(本 線)	11 日	11 日	14 日	算出中 日	— 日	算出中 日

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)*1
6社 合計値	7,093 日	10,460 日	11,987 日	6,270 日	6,925 日	算出中 日

SA・PAの地元利用日数の経年推移



*1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

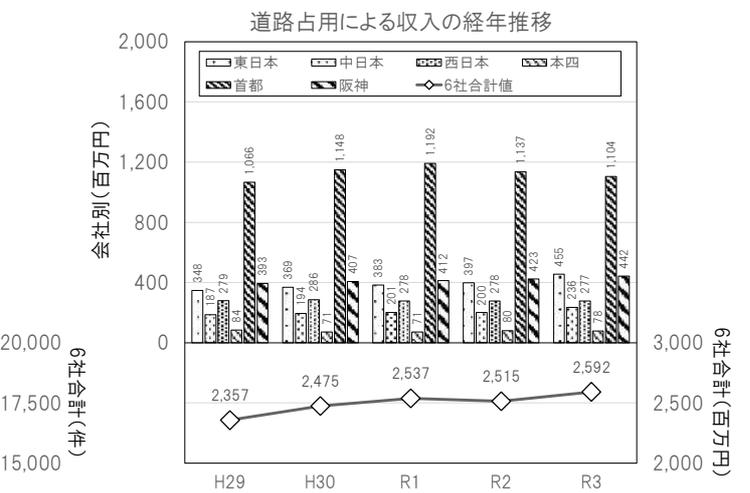
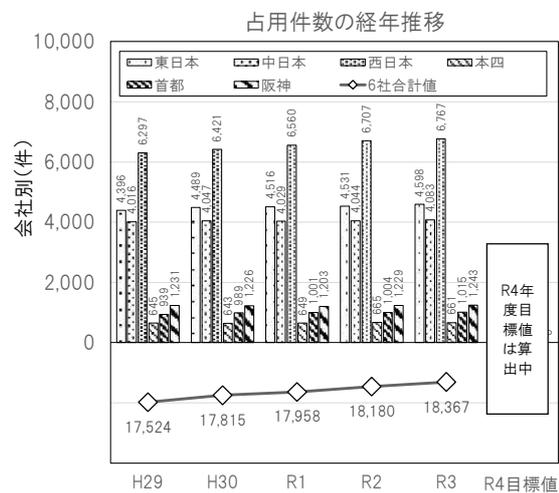
目的	— 道路空間を地域に開放する —			 	
本指標が達成すべき具体目標	道路空間の有効活用の一環として、道路占用件数の継続的な増加を目標とする。	各指標の定義	主指標	■ 占用件数(単位:件) 道路占用件数	
			従指標	■ 道路占用による収入(単位:百万円) ^{※11} 道路占用による収入	

①会社別の指標値

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇～令和〇年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和4～令和7年度の 平均値
高速東 道路本 線	■ 占用件数(単位:件)					
	4,531 件	4,512 件	4,598 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速中 道路本 線	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	397 百万円		455 百万円			
高速中 道路本 線	■ 占用件数(単位:件)					
	4,044 件	4,040 件	4,083 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速中 道路本 線	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	200 百万円		236 百万円			
高速西 道路本 線	■ 占用件数(単位:件)					
	6,707 件	6,563 件	6,767 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速西 道路本 線	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	278 百万円		277 百万円			
高速本 州四 国	■ 占用件数(単位:件)					
	665 件	652 件	661 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速本 州四 国	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	80 百万円		78 百万円			
高速首 都	■ 占用件数(単位:件)					
	1,004 件	998 件	1,015 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速首 都	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	1,137 百万円		1,104 百万円			
高速阪 神	■ 占用件数(単位:件)					
	1,229 件	1,219 件	1,243 件	算出中 件	一件	算出中 件
高速阪 神	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	423 百万円		442 百万円			

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社 合計値	■ 占用件数(単位:件)					
	17,524 件	17,815 件	17,958 件	18,180 件	18,367 件	算出中 件
6社 合計値	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	2,357 百万円	2,475 百万円	2,537 百万円	2,515 百万円	2,592 百万円	



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。
 ※11 道路占用に係る令和3年度実績値は、高速道路機構が算出している。

目的	— 資産を有効活用する —			 
本指標が達成すべき具体目標	道路空間の有効活用の一環として、入札占用件数の継続的な増加を目標とする。	各指標の定義	主指標	■入札占用件数(単位:件) ^{※11} 入札占用制度による占用件数

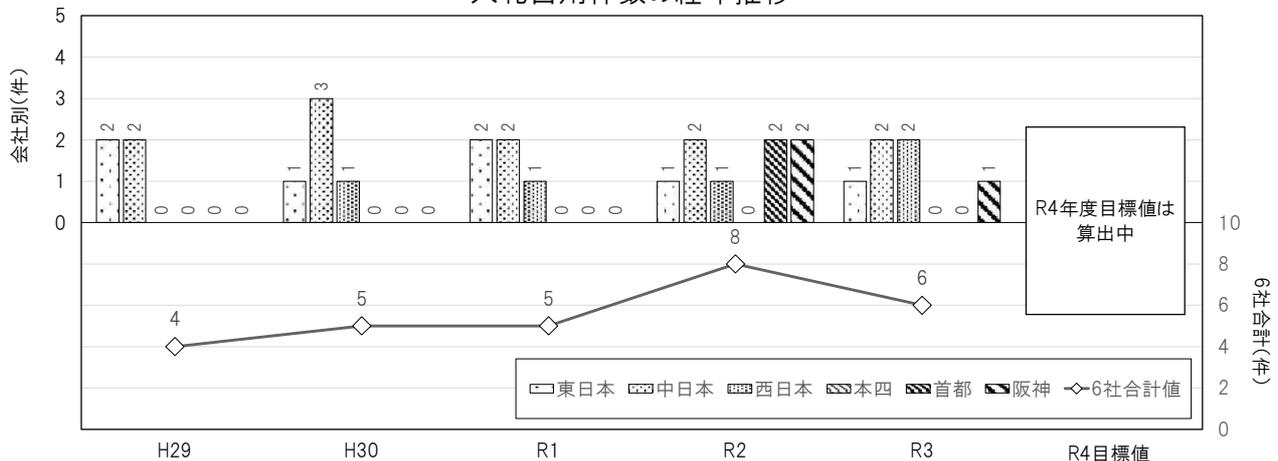
①会社別の指標値

	■入札占用件数(単位:件)					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	(参考) 令和〇~令和〇年度の累積値	中期目標 ^{※1} 令和4~令和7年度の累積値
高速東道路本線	1件	1件	1件	算出中件	1件	算出中件
高速中道路本線	2件	1件	2件	算出中件	1件	算出中件
高速西道路本線	1件	1件	2件	算出中件	1件	算出中件
本州四国連絡高速道路	0件	1件	0件	算出中件	1件	算出中件
高速首都圏	2件	1件	0件	算出中件	1件	算出中件
高速阪神	2件	1件	1件	算出中件	1件	算出中件

②6社合計の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社合計値	4件	5件	5件	8件	6件	算出中件

入札占用件数の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。
 ※11 道路占用に係る令和3年度実績値は、高速道路機構が算出している。

目 的	ー 新技術の活用などによるコスト縮減を続ける ー			 
本指標が達成すべき具体目標	新設改築・更新・修繕等でのインセンティブ助成※12を活用し、コスト縮減を行う。	各指標の定義	主指標 ■インセンティブ助成の認定件数(単位:件) 当該年度に助成委員会※13にて認定した件数	従指標 ■インセンティブ助成の交付件数(単位:件) 当該年度に助成交付した件数 ■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円) 当該年度に助成交付した額※14

①会社別の指標値

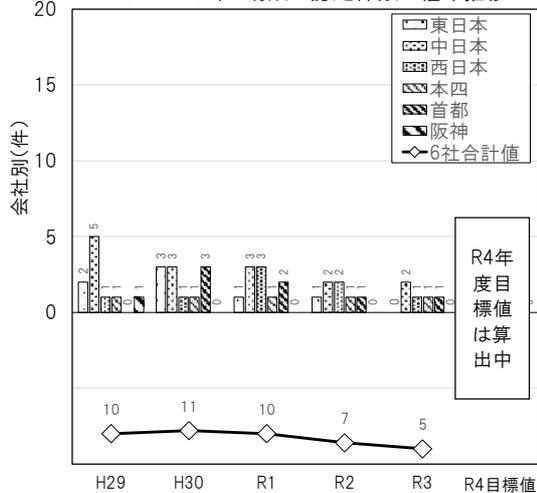
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	(参考) 令和〇～令和〇年度の 累積値	中期目標※1 令和4～令和7年度の 累積値
東日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	1 件	2 件	0 件	算出中 件	一 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	2 件	/	0 件	/	/	/
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
99 百万円	/	0 百万円	/	/	/	
中日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	2 件	1 件	2 件	算出中 件	一 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	3 件	/	1 件	/	/	/
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
18 百万円	/	129 百万円	/	/	/	
西日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	2 件	3 件	1 件	算出中 件	一 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	5 件	/	9 件	/	/	/
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
115 百万円	/	465 百万円	/	/	/	
本州四国 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	1 件	1 件	1 件	算出中 件	一 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	1 件	/	0 件	/	/	/
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
88 百万円	/	0 百万円	/	/	/	

	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	(参考) 令和〇～令和〇年度の 累積値	中期目標※1 令和4～令和7年度の 累積値
首都 高速道路 ㈱	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	1 件	1 件	1 件	算出中 件	1 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	0 件		2 件			
阪神 高速道路 ㈱	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	0 件	1 件	0 件	算出中 件	1 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	0 件		0 件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
	0 百万円		8 百万円			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
	0 百万円		0 百万円			

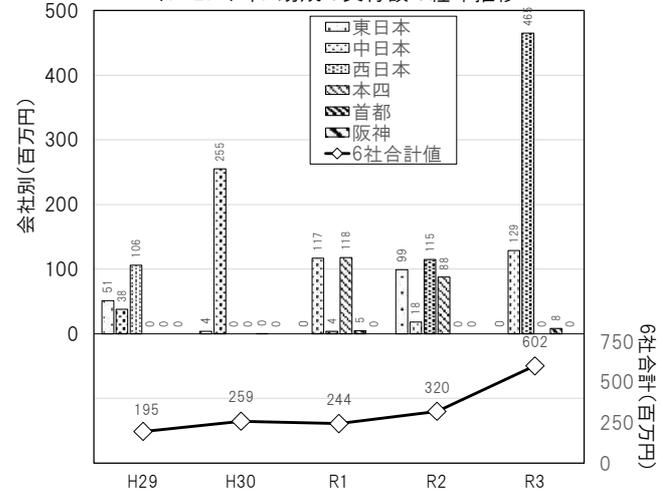
②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)※1
6社 合計値	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	10 件	11 件	10 件	7 件	5 件	算出中 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	7 件	11 件	10 件	11 件	12 件	
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
	195 百万円	259 百万円	244 百万円	320 百万円	602 百万円	

インセンティブ助成の認定件数の経年推移



インセンティブ助成の交付額の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。
 ※12 インセンティブ助成とは、高速道路の新設、改築、修繕その他の管理に要する費用の縮減を助成するための仕組みをいう。
 ※13 助成委員会とは、「高速道路の新設等に要する費用の縮減に係る助成に関する委員会」のことをいう。
 ※14 表記上、小数第一位にて四捨五入しているが、0.5百万円未満の場合は、小数第二位にて四捨五入を行っている。

◇V.総合的な取組の推進

速報値

目的	— サービスの向上に努める —								
本指標が達成すべき具体目標	総合顧客満足度の向上を図り続ける。	各指標の定義	主指標	■総合顧客満足度(単位:ポイント) CS調査等で把握するお客様の満足度[5段階評価]					

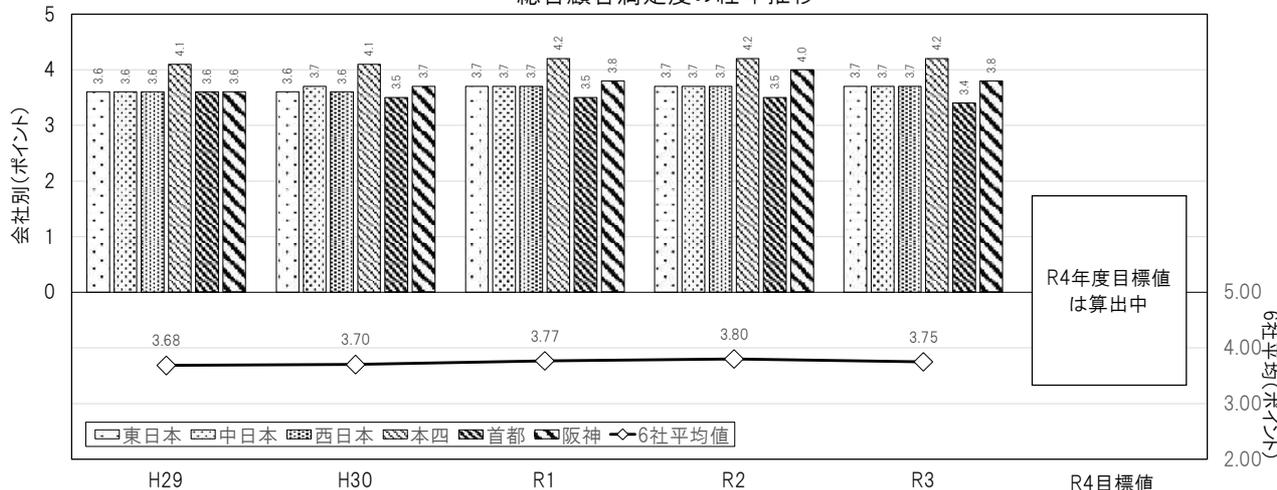
①会社別の指標値

	■総合顧客満足度(単位:ポイント)				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標 ^{※1}	中期目標 ^{※1} 令和7年度
高速東道路本線	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.7 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント
高速中道路本線	3.7 ポイント	3.6 ポイント	3.7 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント
高速西道路本線	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.7 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント
本州四国連絡高速道路本線	4.2 ポイント	4.2 ポイント	4.2 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント
高速首都圏本線	3.5 ポイント	3.5 ポイント	3.4 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント
高速阪神本線	4.0 ポイント	4.0 ポイント	3.8 ポイント	算出中 ポイント	算出中 ポイント

②6社平均値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標) ^{※1}
6社平均値	3.68 ポイント	3.70 ポイント	3.77 ポイント	3.80 ポイント	3.75 ポイント	算出中 ポイント

総合顧客満足度の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

◇ V.総合的な取組の推進

速報値

目的	— 利用者を増やす —				8 働きがいと経済成長 9 持続可能な消費生活 11 気候変動への適応 12 国土強靱化 13 気候変動による被害の軽減
本指標が達成すべき具体目標	高速道路利用者の継続的な増加を目標とする。	各指標の定義	主指標	■年間利用台数(単位:百万台) 支払料金所における年間の通行台数※15	

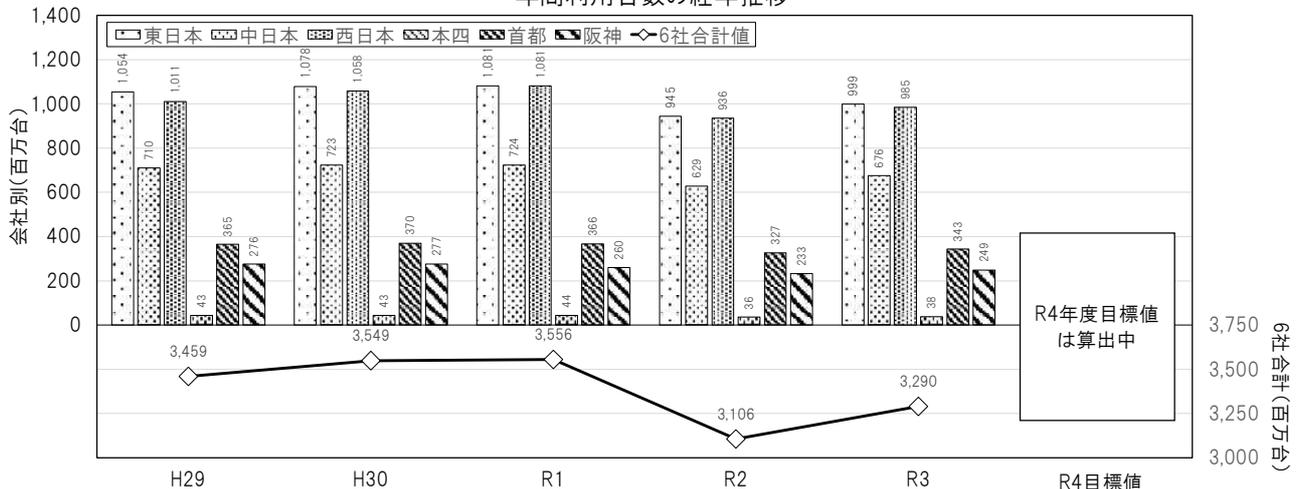
①会社別の指標値

	■年間利用台数(単位:百万台)				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標※1	中期目標※1 令和7年度
高速東道路本線	945 百万台	1,051 百万台	999 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台
高速中道路本線	629 百万台	668 百万台	676 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台
高速西道路本線	936 百万台	1,079 百万台	985 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台
高速本州四国連絡	36 百万台	40 百万台	38 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台
高速首都	327 百万台	335 百万台	343 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台
高速阪神	233 百万台	249 百万台	249 百万台	算出中 百万台	算出中 百万台

②6社合計値の過去5年推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(目標)※1
6社合計値	3,459 百万台	3,549 百万台	3,566 百万台	3,106 百万台	3,290 百万台	算出中 百万台

年間利用台数の経年推移



※1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。
 ※15 首都高速道路(圏外)・阪神高速道路(圏外)は支払い料金所を複数回通過した場合でも「1台」として集計。

◇ V.総合的な取組の推進

速報値

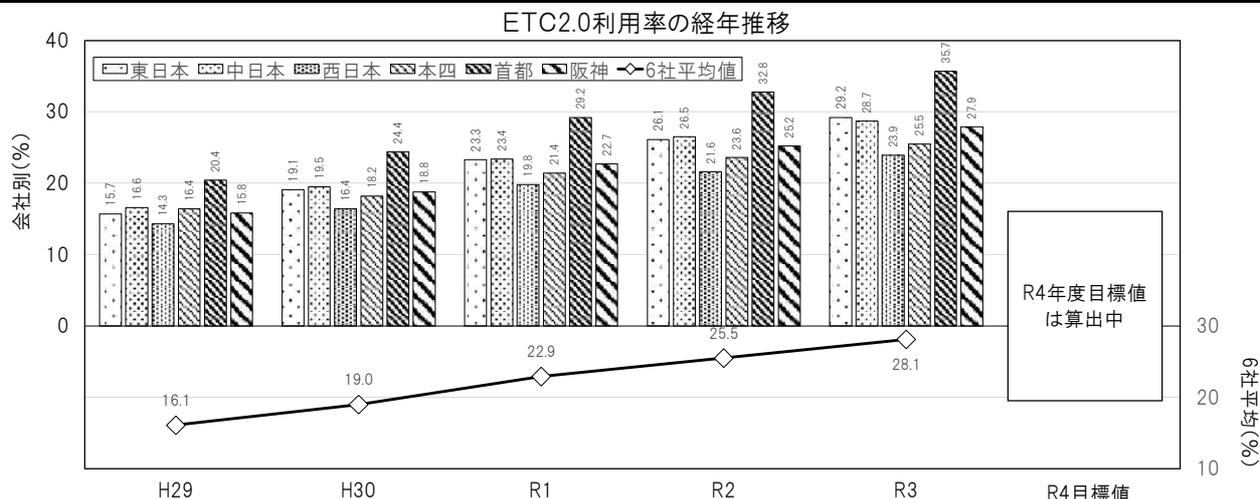
目的	— ETC2.0の普及を促進する —						
本指標が達成すべき具体目標	ETC2.0利用率の継続的な増加を目標とする。	各指標の定義	主指標	■ETC2.0利用率(単位:%) 全通行台数(総入口交通量)に占めるETC2.0利用台数の割合			

①会社別の指標値

	■ETC2.0利用率(単位:%)				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標*1	中期目標*1 令和7年度
高速東 道路本 線	26.1 %	29.8 %	29.2 %	算出中 %	算出中 %
高速中 道路本 線	26.5 %	28.1 %	28.7 %	算出中 %	算出中 %
高速西 道路本 線	21.6 %	25.0 %	23.9 %	算出中 %	算出中 %
高速本 州四 国連 絡	23.6 %	24.4 %	25.5 %	算出中 %	算出中 %
高速首 都	32.8 %	34.8 %	35.7 %	算出中 %	算出中 %
高速阪 神	25.2 %	30.0 %	27.9 %	算出中 %	算出中 %

②6社平均値の過去5年推移*8

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6社平均値	16.1 %	19.0 %	22.9 %	25.5 %	28.1 %



*1 令和4年度目標値及び中期目標値(令和7年度)については「算出中」としているが、今後順次公表予定。

*8 %などの比率で目標設定している一部の指標分類については、当該年度の年度目標値の6社合計値等の掲載は割愛します。

●死傷事故率及び道路保全に係る以下の指標の実績値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定

- 死傷事故率
- 修繕着手率(橋梁・トンネル・道路附属物等)
- 修繕着手済数(橋梁・トンネル・道路附属物等)
- 点検率(橋梁・トンネル・道路附属物等)
- 橋梁の耐震補強完了率